

Zoom 学習会

ゲノム編集技術開発の現状と今後

2012年にCRISPR/Cas9というゲノム編集のツールが発表されて以来、従来の遺伝子組み換え操作より容易なため、ゲノム編集技術を使った植物、動物、さらにはヒト胚細胞系列の研究や開発が世界中で急速に進展しています。今までにないこの技術は、動植物の改変による農作物、畜産物の品種改良や医療、創薬、さらには軍事利用など応用範囲も広いとされています。中国の科学者による受精卵にゲノム編集を施した双子の赤ちゃんが生まれたニュースが流れるなど、安全面、倫理面などの問題もあり、マスコミにも取り上げられています。市民は驚異を持ち、これらの情報に関心を持つが、専門的な技術でもあり、ただ不安視したり、信憑性のない情報に惑わされている面も見うけられます。確かにオフターゲット、モザイクなどが十分回避されていない状況で商品として売られていくのではないかと、実用化されていくのではないかと心配です。そこで今回、実際にゲノム編集技術を使って研究・開発されているお二人に、実例をもとにわかりやすくゲノム編集技術の現状と今後についてお話していただきます。江面浩教授にはゲノム編集による高GABAトマトの開発について、どこまで開発されているのか、課題は何か、品種改良とゲノム編集の関係などと共にお話いただきます。

また、真下知士教授には純国産ゲノム編集技術とされているCRISPR-Cas3の開発を中心に、より効率的で安全性の高いノックアウトやノックイン技術の実現に向けての研究の現状について、ゲノム編集技術の安全性と有効性や特許や規制を含めた技術動向なども含めてお話しいただきます。

実際にゲノム編集の研究に携わっておられるお二人から直接お聞きできるチャンスです。新型コロナウイルス感染予防のため、オンラインとなりますが、多くの参加を望みます。

記

日時：2020年11月29日（日） 13時30分～16時30分 Zoom入場 13時00分より

講師：江面浩さん 筑波大学生命環境系教授
真下知士さん 東京大学医科学研究所教授
司会：島菌進さん 上智大学特任教授・東京大学名誉教授

進行：13時30分～13時40分 挨拶と諸注意
13時40分～14時20分 江面浩さん講演
休憩 5分間
14時25分～15時05分 真下知士さん講演
休憩 5分間
15時10分～15時50分 パネルディスカッション
15時50分～16時30分 質疑応答

Zoom
参加費 1000円



こちらからもお申し込みできます

予約方法：

- 参加は事前予約とします。（予約受付は、10月19日から11月26日まで）
- 予約は名前（ふりがな必須）、連絡先（E-mail必須）、職種・団体（任意）を明記の上、E-mail：jreikochan@yahoo.co.jp 神野玲子へ申し込みください
*連絡先のE-mailアドレスを誤ると参加案内が送れませんので注意を！

参加費振り込み方法：

- 事前に11月26日までに下記に振込みください、
【郵便局からのご送金】の場合：口座番号 10290-70860881 口座名義 神野玲子
【他行からのご送金】の場合：ゆうちょ銀行028店 普通7086088 口座名義 神野玲子
- 参加費お振込みされた方に11月26日頃に案内とZoomURLをお送りします。

主催：ゲノム問題検討会 （ホームページ <https://genome714.com/>）

問い合わせ：090-2669-0413 神野玲子